

第2回総合計画審議会について

令和8年3月
南あわじ市ふるさと創生課



第2回審議会は、第3回で予定している基本構想案の骨子を固める事が目的

開催時期	審議会	議事テーマ概要
令和8年1月20日	第1回	◇委嘱・諮問 ◇第3次総合計画の策定について ◇南あわじ市の人口動向について ◇市民アンケート結果報告 ◇今後の審議会スケジュール
令和8年3月19日	第2回	◇将来人口の展望 ◇目指すべき将来像（案）について
令和8年6月上旬頃	第3回	◇人口ビジョンについて ◇第3次総合計画基本構想（案）について
令和8年10月中旬頃	第4回	◇第3次総合計画基本計画（素案）について
令和8年11月下旬頃	第5回	◇第3次総合計画基本計画（案）について ◇パブリックコメントの実施について
令和8年12月	パブリックコメント実施	
令和9年1月下旬頃	第6回	◇パブリックコメント結果報告 ◇第3次総合計画（最終案）について ◇答申

南あわじ市 将来都市像の検討

将来都市像 (ビジョン)

めざす姿がわかる
(イメージできる)
まちづくりの目標となる

羅針盤的要素

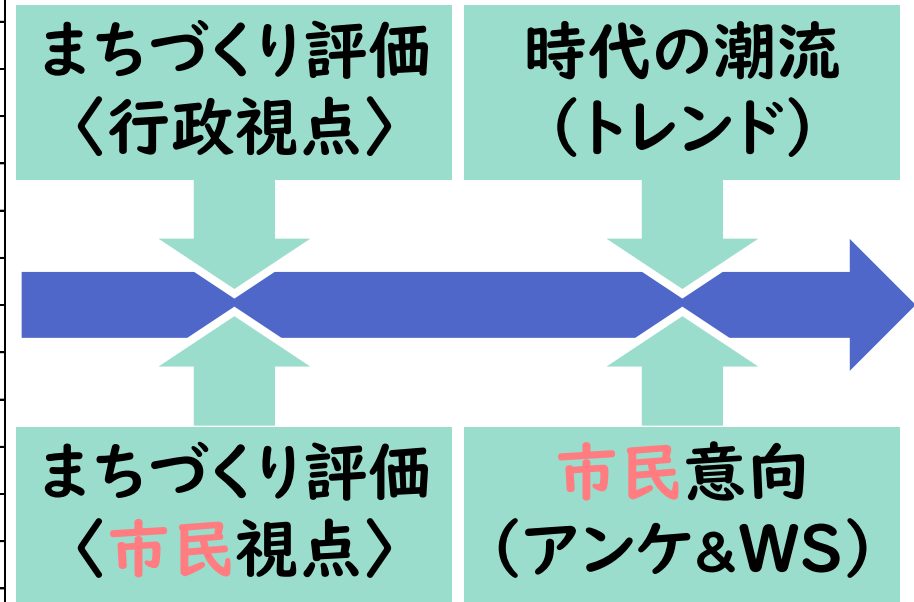
知ってもらえる
興味を持ってもらえる
覚えてもらえる

キャッチフレーズの要素

第2次南あわじ市 総合計画(後期基本計画)

将来像 政策の柱「五つの行動」 (分野)大分類

人がつながら 笑顔あふれる ふるさとづくり	だから住みたい	超高齢化社会の克服	健康
			福祉
			移住定住
		子育て環境の向上と 教育の充実	子育て
			教育
	生涯学習・文化・スポーツ		
	地域の資源を活かした 地元産業の活性化	農畜水産業	
		商工業・地場産業	
		観光・交流	
		資源循環	
	安全・安心のまちづくり	防災・防犯	
		公共交通	
		人権	
		環境	
	「対話と行動の行政」の 実現によるまちづくり	行政手法	
		行政運営	



目指すべき将来都市像

第2次総合計画の体系

将来像	政策の柱「五つの行動」	大分類	施策番号	基本施策
だから住みたい南あわじ 人がつながる 笑顔あふれる ふるさとづくり	I 超高齢化社会の克服	1 健康	I-1-1	健康づくりの推進と地域医療の充実
		2 福祉	I-2-1	高齢者福祉の充実
		3 移住定住	I-2-2	福祉の充実
	II 子育て環境の向上と教育の充実	1 子育て	I-3-1	移住・定住の促進
			II-1-1	子どもたちの健全育成の推進
		2 教育	II-1-2	子どもを産み育てやすい環境の充実
			II-2-1	学校教育の充実
		3 生涯学習・文化・スポーツ	II-2-2	教育環境の充実
			II-3-1	伝統文化の伝承と歴史・ふるさとと資源の保存活用の推進
	III 地域の資源を活かした地元産業の活性化	1 農畜水産業	II-3-2	生涯学習の推進と芸術・文化・スポーツの振興
			III-1-1	農畜産業の振興
			III-1-2	農畜産物の高付加価値化の推進
		2 商工業・地場産業	III-1-3	水産業の振興と高付加価値化の推進
			III-2-1	商工業の推進
		3 観光・交流	III-2-2	伝統的な地場産業の振興
			III-3-1	観光交流の促進
		4 資源循環	III-3-2	観光施設・環境の整備
	III-4-1		資源循環型社会の推進	
	III-4-2		低炭素社会の推進	
	IV 安全・安心のまちづくり	1 防災・防犯	IV-1-1	防災力向上
IV-1-2			交通安全対策と防犯対策の推進	
2 公共交通		IV-2-1	地域公共交通の充実	
		IV-3-1	確かな人権意識と行動力を持った人づくり	
3 人権		IV-3-2	人権と平和を尊重する環境づくりの推進	
		IV-3-3	男女共同参画の推進	
4 環境		IV-4-1	環境保全・環境衛生の推進	
		IV-4-2	都市基盤の整備	
V 「対話と行動の行政」の実現によるまちづくり	1 行政手法	V-1-1	市民主体のまちづくり	
	2 行政運営	V-2-1	最強の市役所づくり	
		V-2-2	シティプロモーションの推進	

1. 多彩な自然が広がるまち

南あわじ市は、海・山の多彩な自然資源を有し、市の中央部の広がりのある平野部は全国有数の農用地となっており、良好な田園景観を形成しています。また、海岸部は農山漁村風景が広がり、市民共通の資産となっています。

市民アンケートにおいて、「南あわじ市の自然環境が好き」と回答した方が多く、都市圏在住者対象のWebアンケートでも「自然や歴史が豊かな南あわじ市の環境のなかで暮らしたい」と多くの方が回答しています。また、自然を守ろうとする市民の自主的な環境保全・美化活動も各地で盛んに行われています。

このような、豊かな自然資源のなかに立地した多くの観光・レクリエーション施設を活かし、毎年多数の観光客が南あわじ市を訪れ、自然や食、スポーツなどを楽しんでもらい、リピーターとなってもらえるような地域の魅力向上が必要です。

2. 地域の特性を生かした特徴的な産業が盛んなまち

南あわじ市は、温暖な気候を活かし、水稻やタマネギ、レタス、ハクサイ、キャベツなどを組み合わせた三毛作や乳牛と繁殖和牛の飼養などの第1次産業が盛んです。また、播磨灘や鳴門海峡では新鮮な魚介類が水揚げされています。工業・製造業では、地場産業として江戸時代から受け継がれてきた淡路瓦や淡路手延素麺などがあり、国内はもとより世界に向けたブランド力が構築されつつあります。

地域で採れた農畜水産物の直売所「美菜恋来屋」や道の駅の整備など、南あわじ市のふるさと資源をPRする場も充実しつつあります。

しかし、高いブランド力のある農畜水産業や地場産業においても、従事者の高齢化と後継者不足、厳しい経営状況など今後産業の維持が困難となる状況も想定されており、事業の継続を通じた雇用の確保や地域経済の活力維持が必要です。

3. 史跡や歴史文化が豊かなまち

南あわじ市には、古事記や日本書紀に由来する国生み伝説に代表される豊富な史跡が分布しています。

国の重要無形民俗文化財に指定されている約500年の歴史を誇る『淡路人形浄瑠璃』や松帆地区から発見された『松帆銅鐸』をはじめとした歴史・文化資源、世界遺産登録をめざす「鳴門海峡の渦潮」などのふるさと資源を活かした取り組みが行われています。

また、文化庁の日本遺産に淡路島全体が『国生みの島・淡路』として認定されているとともに、春には各神社を中心にだんじりが繰り出されるなど、特色ある伝統文化が脈々と受け継がれています。今後も、地域の歴史文化を深く掘り下げつつ、ふるさと資源を活かして市民及び来訪者に積極的に情報発信を行い、地域のにぎわい創出や交流人口の拡大につなげていくことが必要です。

4. 交通アクセスが便利なまち

淡路島は、自然、文化などが豊かでありながら大都市圏に近接し、交通アクセスもよく、さらに食のブランド化も進むなど観光地としての評価を得ています。

特に南あわじ市は、京阪神、四国地域との交流拠点、淡路島の南の玄関口としての立地特性を有しています。さらに紀淡海峡連絡道路などさらなる交通網拡大の可能性を踏まえると、南あわじ市の交流拠点としての役割は一層高まると期待されます。

このような広域的交通網を活かし、近年増加しているサイクリストの受け入れ環境の整備や生涯スポーツの国際総合競技大会「関西ワールドマスタースゲームズ2021」のビーチバレーボール競技開催に伴うインバウンド（訪日外国人観光客）需要の取り込みによる交流人口の拡大が必要です。また、農漁業体験や田舎暮らし体験ができる場を提供するなど定住化に向けた都市住民の転入促進対策が必要です。

5. 子育て支援が充実しているまち

南あわじ市は合併以降、3歳児以上保育料無料化や中学3年生までの医療費無料化など子育て支援施策を重点的に実施してきました。兵庫県が算出した2015（平成27）年の南あわじ市の合計特殊出生率は1.83であり、全国平均（1.45）や県内平均（1.48）よりも高い状況にあります。また、地域おこし協力隊の定着・定住のように1ターンによる若者の移住もみられるようになっていきます。

市民アンケートでも、住み良い理由として子育て世代で「子どもを育てやすく、教育環境が整っているから」と回答した方が多くなっています。

しかし、進学や就職を機に若者世代が都市部へ転出し、その後市内に戻る割合が少ないため、結果として若者・子育て世代の人口減少に歯止めがかからない状況となっており、魅力ある働く場の創出や結婚・子育ての希望を実現する環境の充実が必要です。

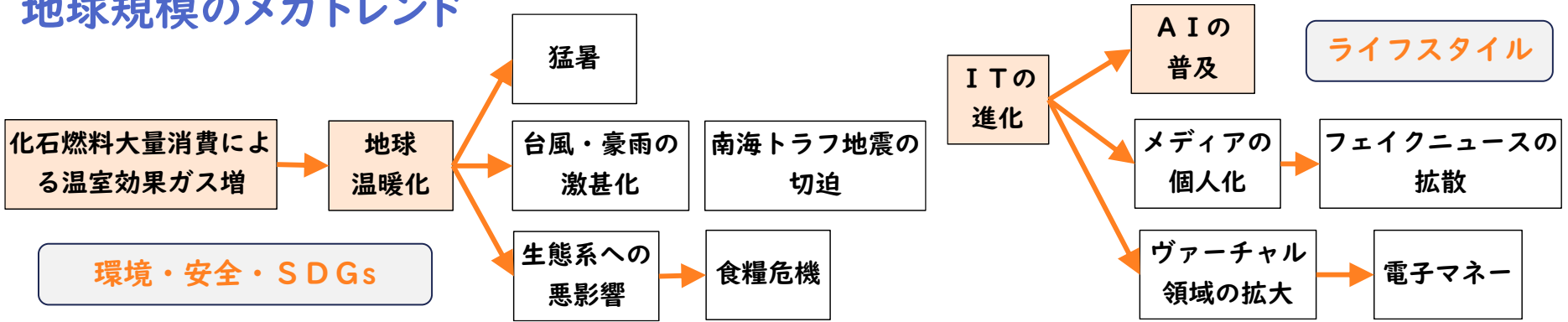
6. 高齢者が元気に働いているまち

南あわじ市には、元気な高齢者が多く、農業や漁業などの第1次産業に従事したり、スポーツ活動や地域行事に参加するなど地域とのつながりを持ちながら生涯現役で生きがいをもって暮らしています。

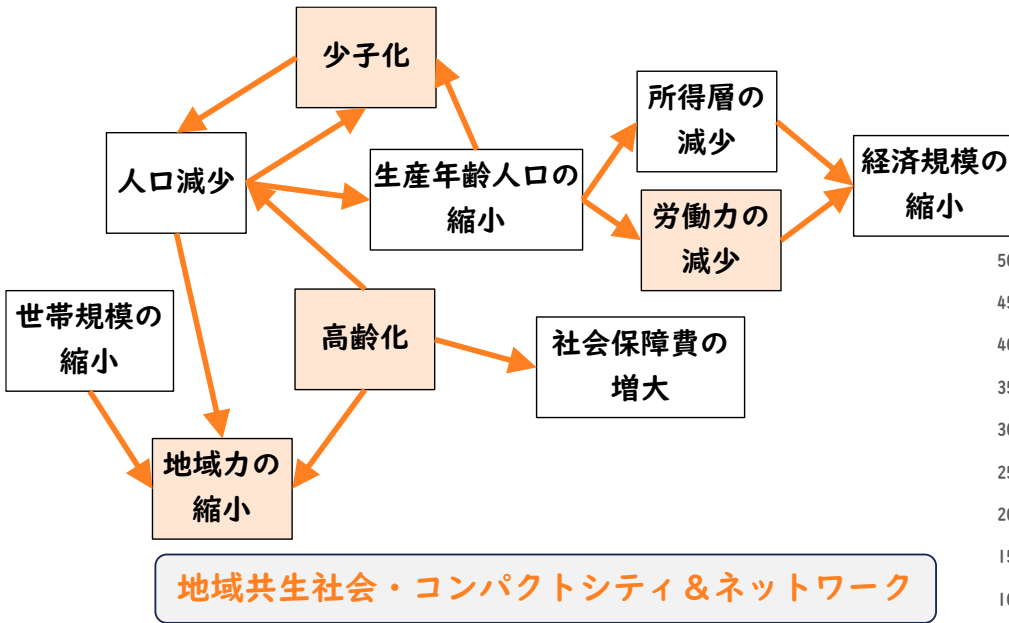
今後もより一層高齢化が進むなか、高齢者の就業機会の充実や高齢者が介護の分野や環境保護対策など地域の課題解決につながるさまざまな分野で社会参加を促進することで、いつまでも元気に生きがいをもって暮らせる環境整備が必要です。

時代の潮流 (トレンド)

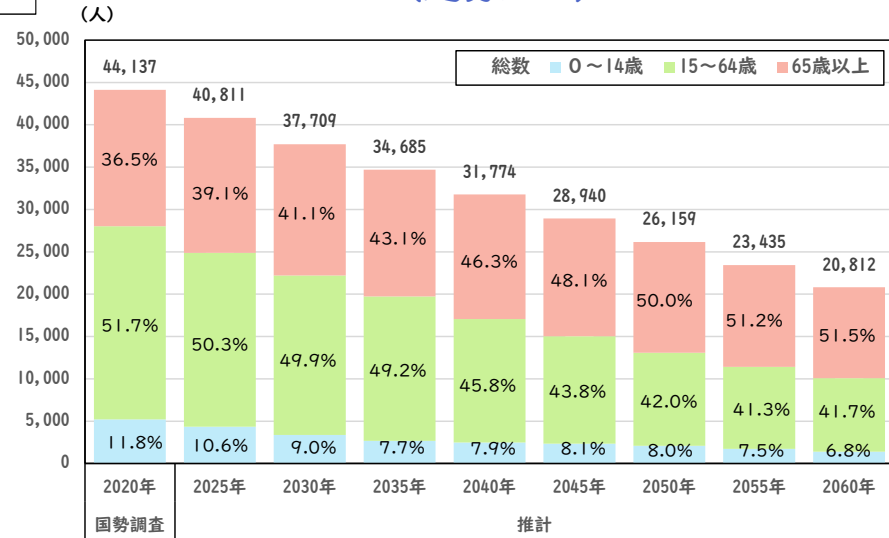
地球規模のメガトレンド



国内のメガトレンド



南あわじ市
現時点で予測される将来人口の見通し
(趨勢人口)



まちづくり評価〈市民視点〉市民アンケート

○市民アンケートについて

「南あわじ市第3次総合計画」及び「南あわじ市地方版総合戦略（仮称）」を策定するにあたり、市民の皆様のご意見やお考えを計画に反映させるため、必要な基礎資料の収集を目的に「市民意識調査」を実施しました。

調査対象	市内在住の18歳以上の市民3,000人
抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出
調査期間	令和7年11月19日(水)発送～12月18日(木)最終回収
調査方法	郵送による調査票の配布・回収 回収についてはWEBを併用 (調査票に二次元バーコードを記載、専用ウェブサイトにて回答)

○回収結果

	今回調査(令和7年)	前回調査(令和3年)
調査票の配布数	3,000票	3,000票
調査票の回収数 (うち、WEB回答数)	1,093票(302票)	1,558票(218票)
回収率	36.4%	51.9%

【市民】取組の満足度

※〈満足・計〉比率と〈不十分・計〉比率の差

-20% -10% 0% 10% 20% 30%

【健康】 (保健活動や予防啓発活動の充実、母子健康活動の充実、地域医療体制の確保等)	25.8%
【生涯学習・文化・スポーツ】 (文化遺産の活用、伝統文化の伝承と発展、スポーツ活動の支援、図書サービスの向上、生涯学習の機会の提供)	16.6%
【福祉】 (高齢者の社会参加、介護サービスの充実、社会活動や就労場の創出、障がい者自立支援、生活困窮者への支援等)	14.1%
【子育て】 (健全育成の推進、居場所づくり、子どもを産み育てやすい環境の充実、保護者の経済的負担の軽減)	10.3%
【教育】 (学力の育成、防災教育の推進、学校施設の整備・充実、教育における情報化推進とICT環境整備)	9.1%
【生活環境】 (ごみの減量と再資源化の推進、自然景観の維持、生活排水の適正な処理の推進、下水道施設の維持管理、空き家の改善)	6.6%
【観光・交流】 (鳴門の渦潮を核とした観光ブランディング、インバウンド対応、グローバル人材の育成、環境美化の維持)	5.9%
【人権】 (人権が大切にされる教育環境整備、人権に関する知識や情報の提供、男女共同参画への意識啓発)	2.9%
【防災・防犯】 (防災力の強化、施設整備の推進、交通安全の普及啓発、道路交通環境の整備、防犯体制の強化、消費生活に関わる相談)	0.9%
【行政運営】 (行政・財源の透明性・公平性の確保、安心・納得できる納税環境づくり、市職員への教育や意識統一、情報発信の改善)	0.3%
【行政手法】 (地域の体制づくりの支援、女性、若者、学校、事業者等みんなが地域づくりに関われる機会の創出、地域の自主的な課題解決への取り組みに対する支援)	-2.1%
【移住定住】 (移住定住の促進、空き家利活用促進、地域おこし協力隊制度の活用)	-3.7%
【農畜水産業】 (効率的な農業経営と担い手育成、商品開発や販路拡大、基盤整備、漁場環境整備と水産資源活用、地産地消と食育推進)	-5.9%
【資源循環】 (地域内の資源循環システム構築、脱炭素化への取り組み推進、温室効果ガス削減)	-9.2%
【公共交通】 (地域特性や多様なニーズに応じた地域公共交通の整備と利用促進、安全対策の推進)	-12.1%
【商工業・地場産業】 (デジタル化の推進、企業誘致の促進、雇用の確保、淡路瓦の普及促進、淡路手延素麺の認知度向上)	-13.1%

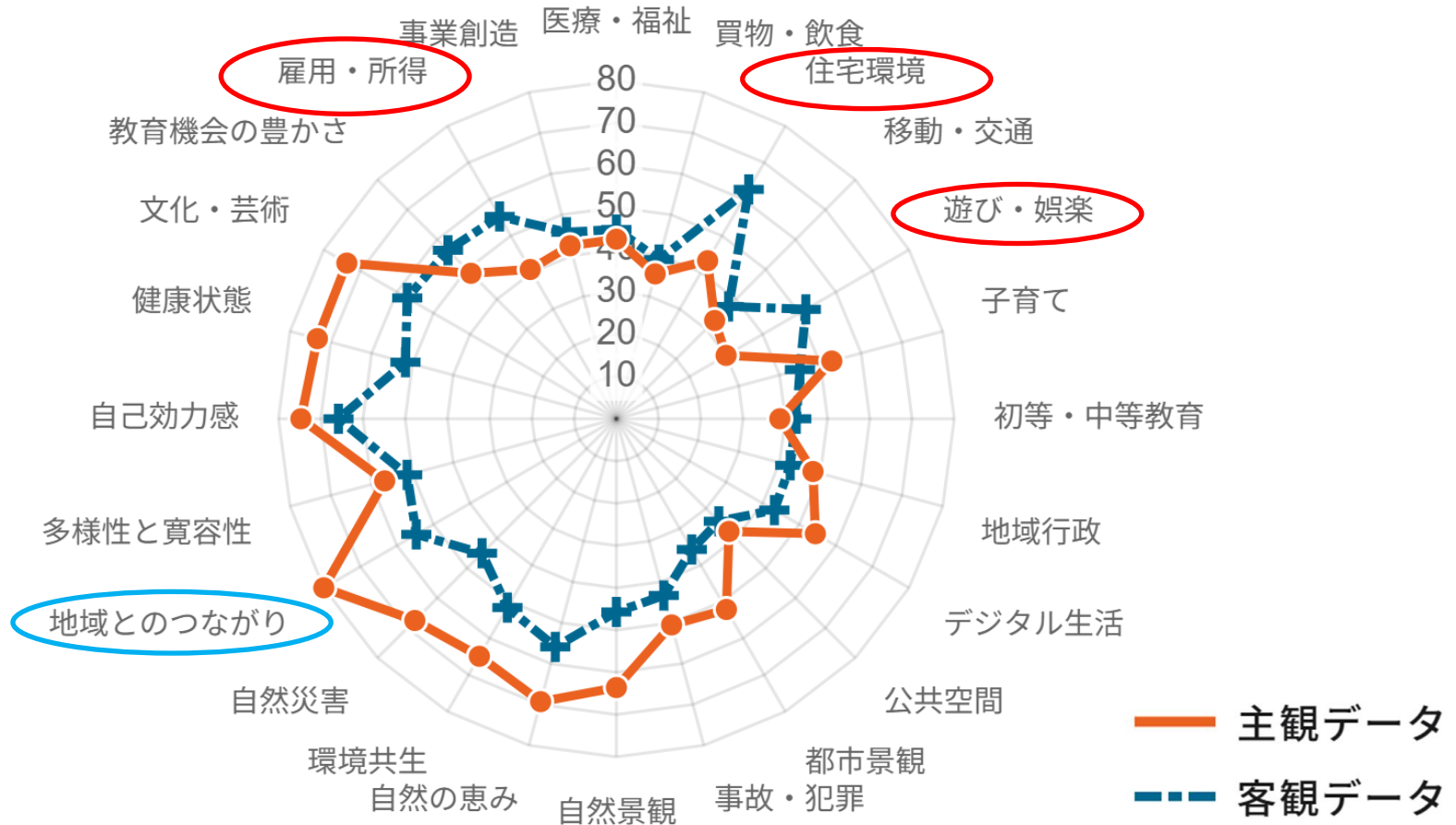
満足度評価が高い
まちづくり分野(取組)

- 健康(25.8%)
- 生涯学習・文化・スポーツ(16.6%)
- 福祉(14.1%)
- 子育て(10.3%)

満足度評価が低い
まちづくり分野(取組)

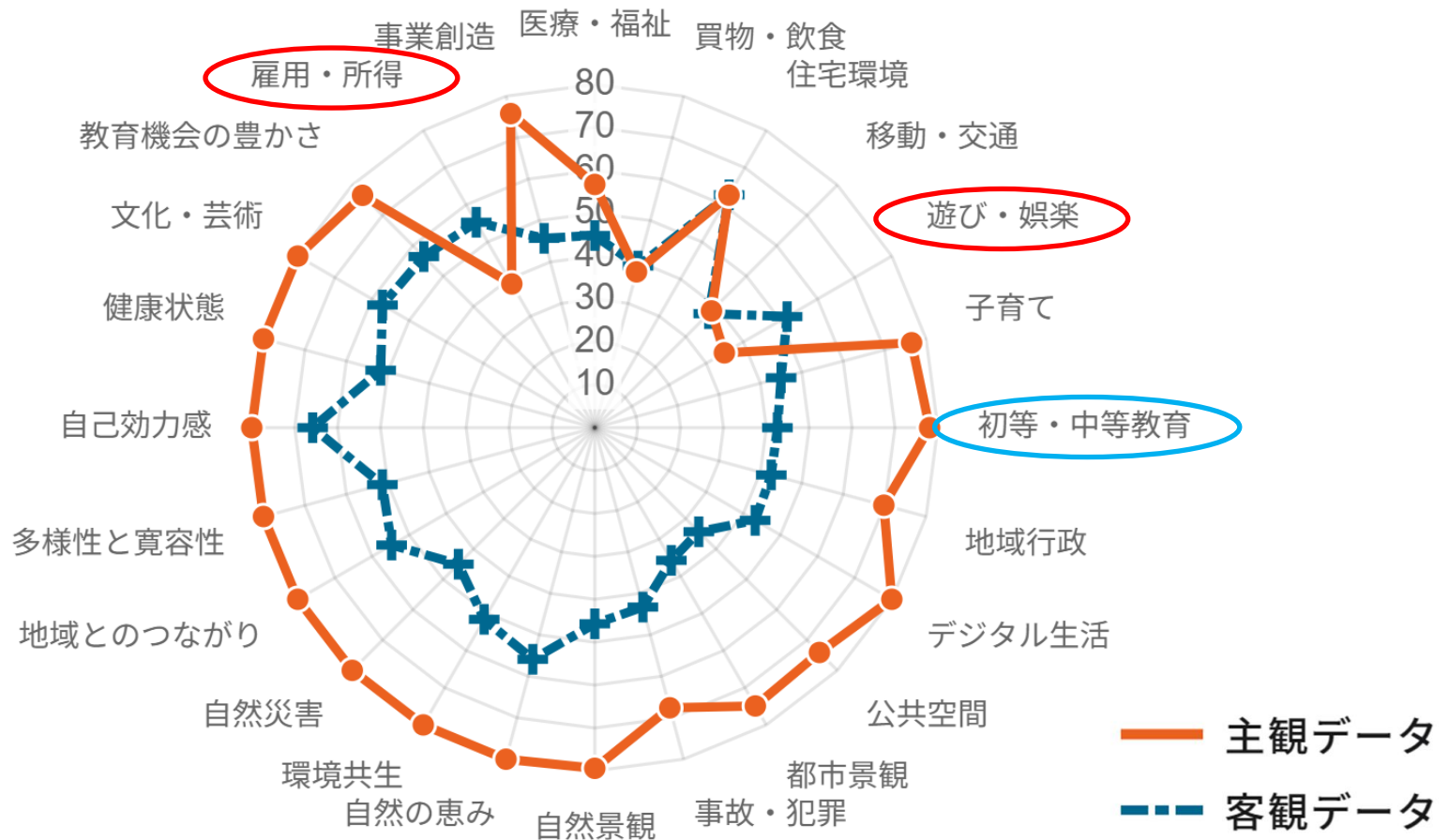
- 商工業・地場産業(-13.1%)
- 公共交通(-12.1%)

南あわじ市の地域幸福度 (Well-Being指標) 【全年代】



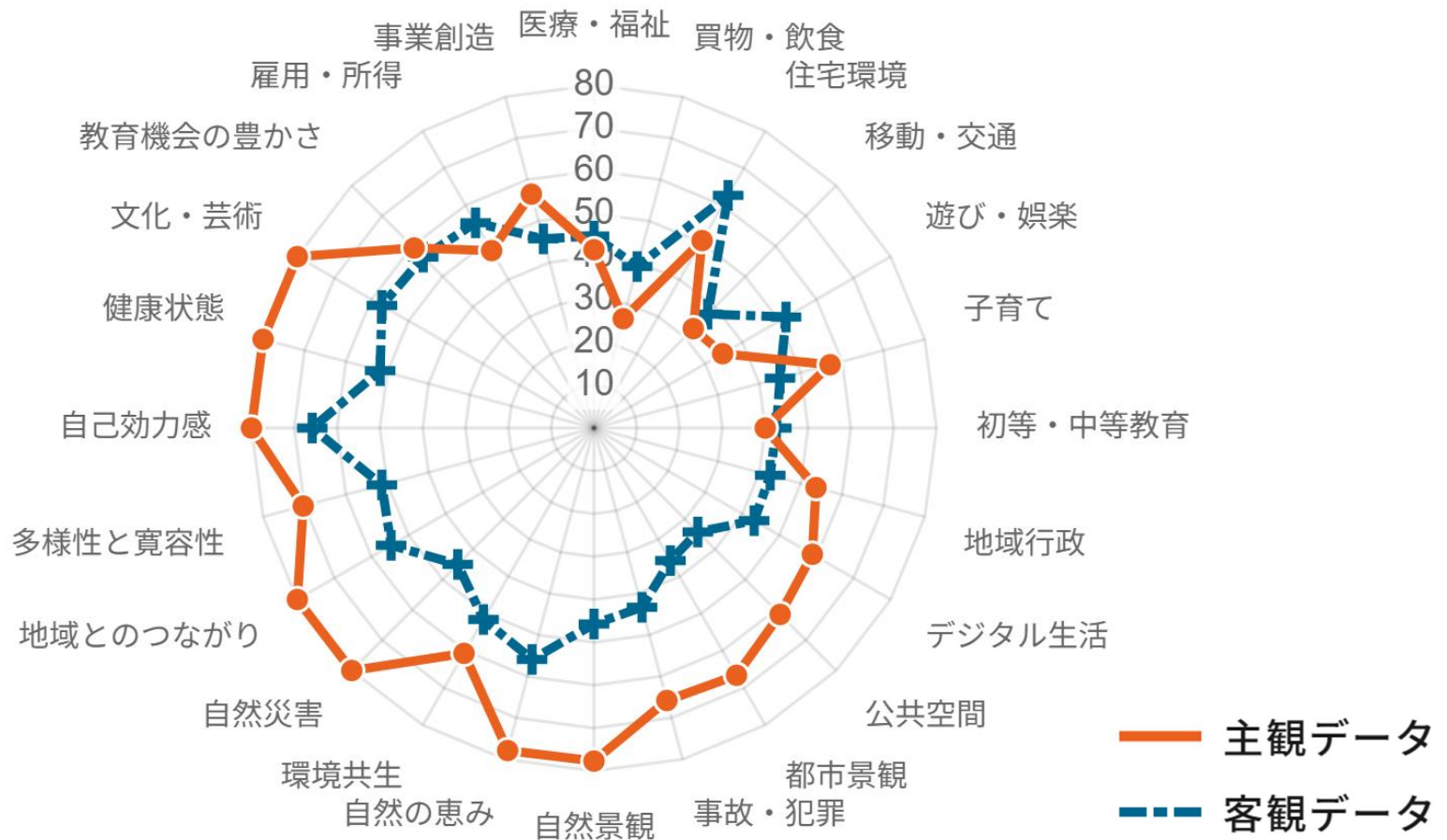
- グラフはデジタル庁公表の偏差値（全国の他都市との比較）
- 主観データは市民アンケート結果に基づく算出値

南あわじ市の地域幸福度 (Well-Being指標) 【10代】



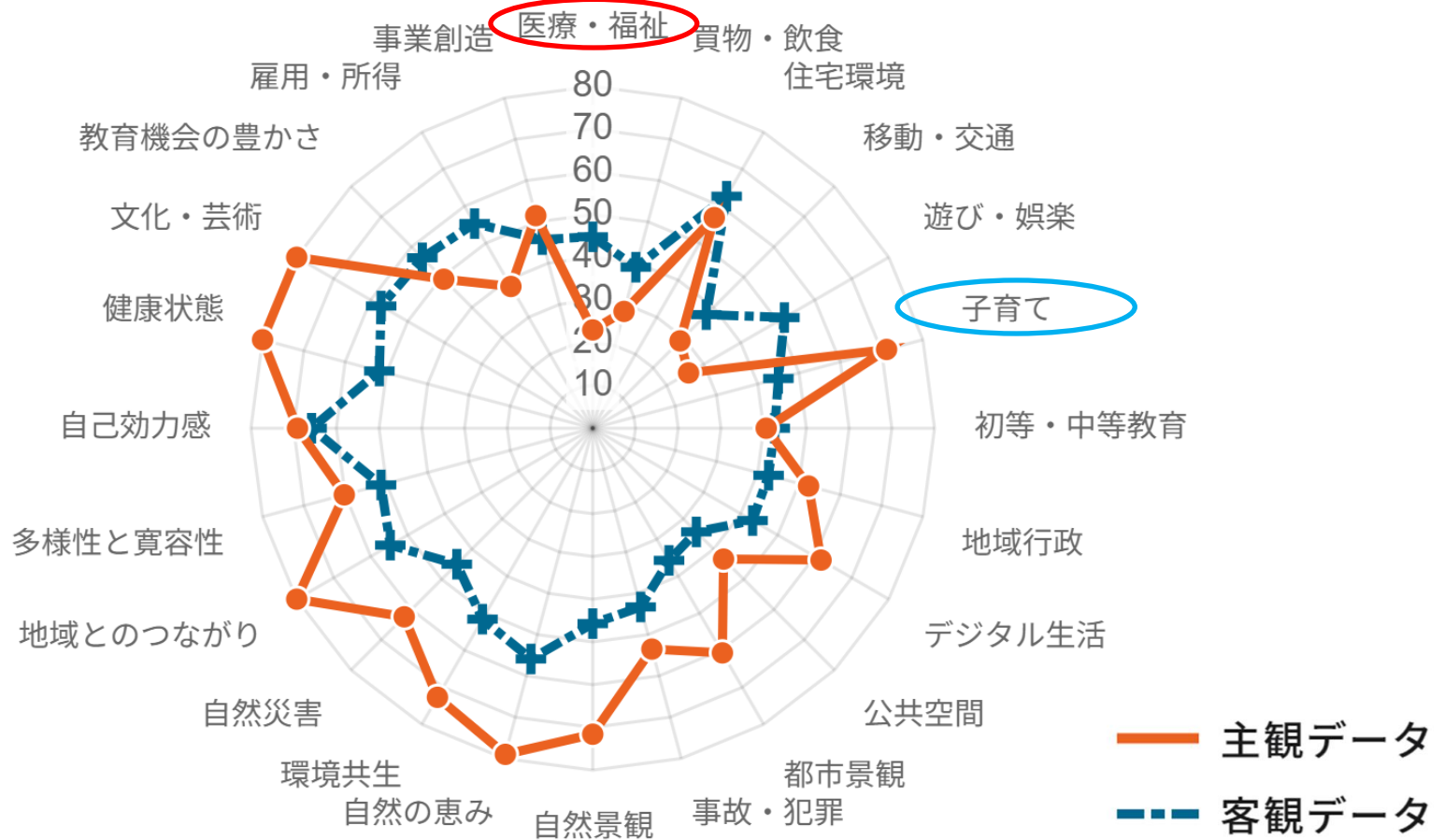
- グラフはデジタル庁公表の偏差値 (全国の他都市との比較)
- 主観データは市民アンケート結果に基づく算出値

南あわじ市の地域幸福度（Well-Being指標）【20代】



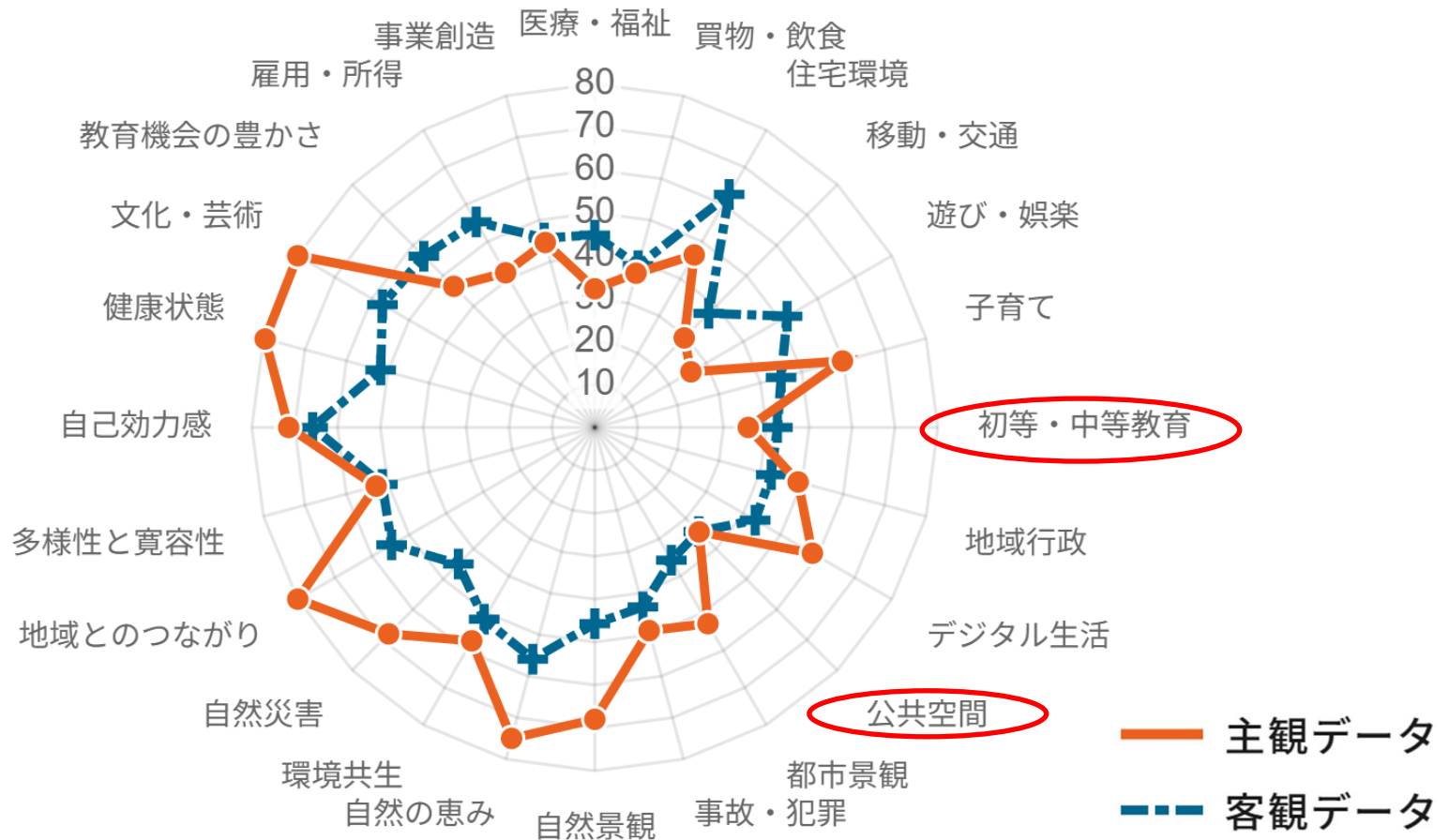
- グラフはデジタル庁公表の偏差値（全国の他都市との比較）
- 主観データは市民アンケート結果に基づく算出値

南あわじ市の地域幸福度（Well-Being指標）【30代】



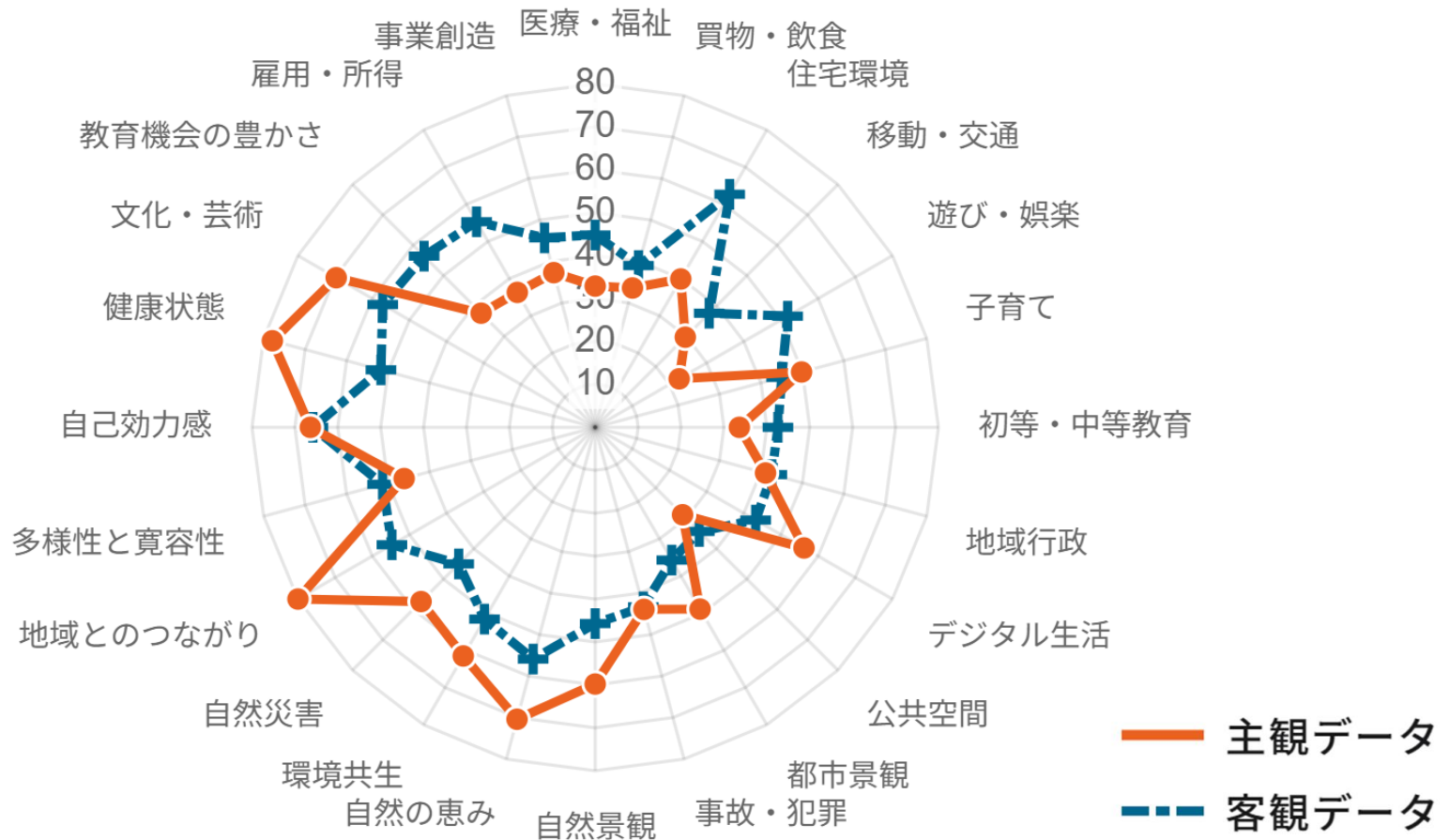
- グラフはデジタル庁公表の偏差値（全国の他都市との比較）
- 主観データは市民アンケート結果に基づく算出値

南あわじ市の地域幸福度 (Well-Being指標) 【40代】



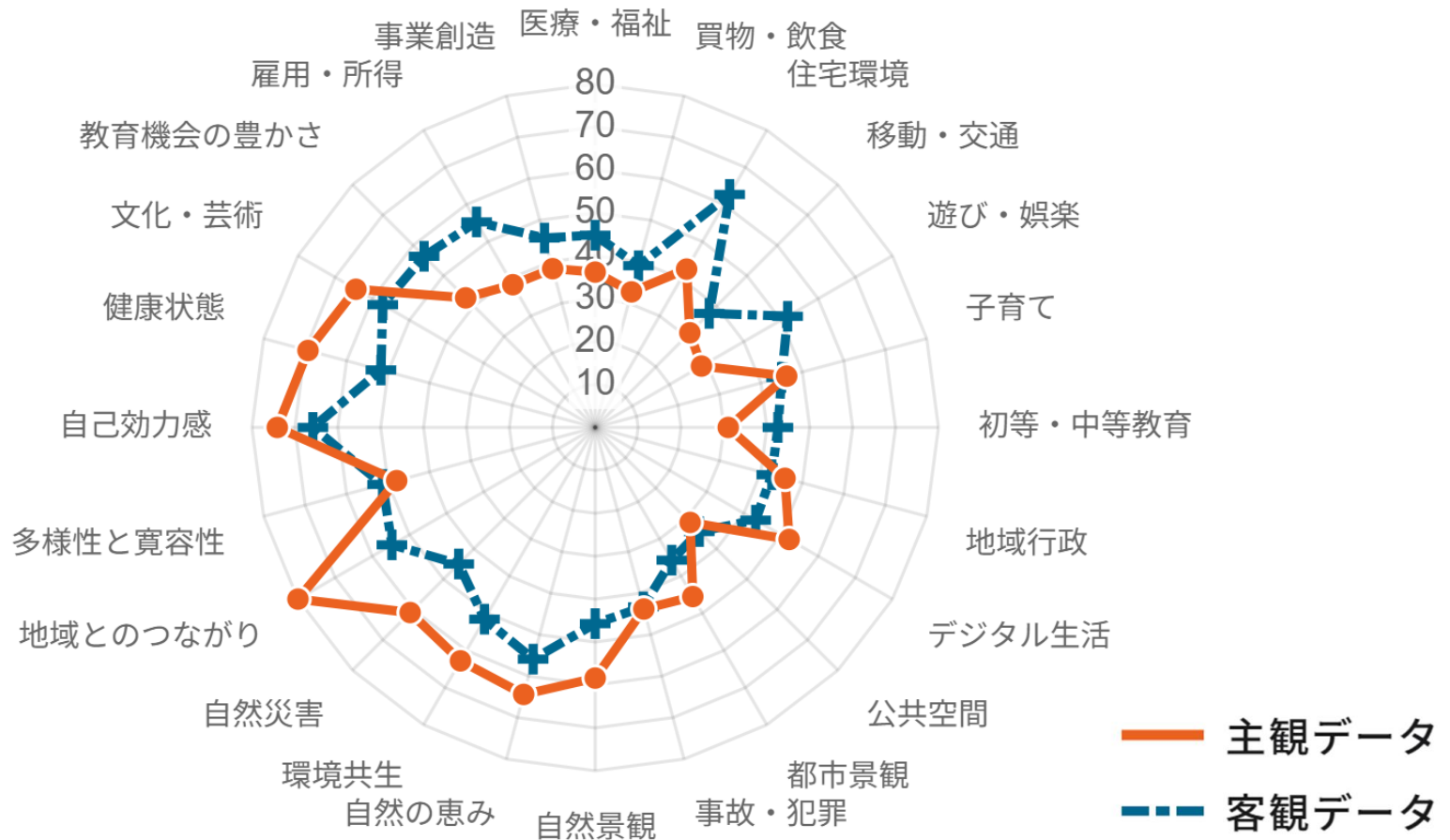
- グラフはデジタル庁公表の偏差値 (全国の他都市との比較)
- 主観データは市民アンケート結果に基づく算出値

南あわじ市の地域幸福度（Well-Being指標）【50代】



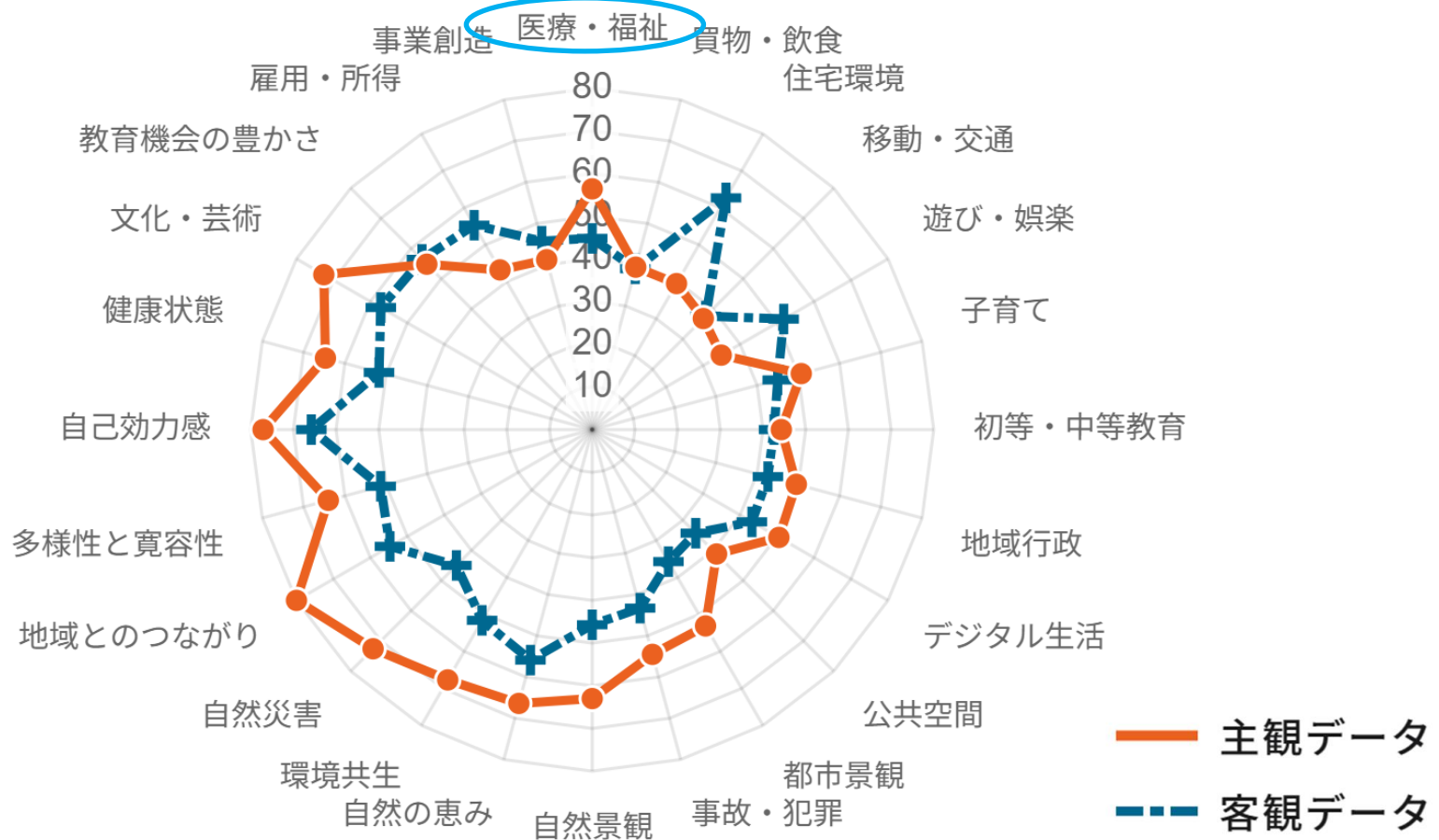
- グラフはデジタル庁公表の偏差値（全国の他都市との比較）
- 主観データは市民アンケート結果に基づく算出値

南あわじ市の地域幸福度（Well-Being指標）【60代】



- グラフはデジタル庁公表の偏差値（全国の他都市との比較）
- 主観データは市民アンケート結果に基づく算出値

南あわじ市の地域幸福度 (Well-Being指標) 【70代以上】



- グラフはデジタル庁公表の偏差値 (全国の他都市との比較)
- 主観データは市民アンケート結果に基づく算出値

【市民】取組推進の必要性

※〈推進すべき・計〉比率と〈推進しなくて良い〉比率の差

0% 20% 40% 60% 80%



今後推進すべき

まちづくり分野 (取組)

取組分野	比率 (%)	0%	20%	40%	60%	80%
【子育て】 (健全育成の推進、居場所づくり、子どもを産み育てやすい環境の充実、保護者の経済的負担の軽減)	62.8%					
【生活環境】 (ごみの減量と再資源化の推進、自然景観の維持、生活排水の適正な処理の推進、下水道施設の維持管理、空き家の改善)	61.8%					
【防災・防犯】 (防災力の強化、施設整備の推進、交通安全の普及啓発、道路交通環境の整備、防犯体制の強化、消費生活に関わる相談)	60.8%					
【農畜水産業】 (効率的な農業経営と担い手育成、商品開発や販路拡大、基盤整備、漁場環境整備と水産資源活用、地産地消と食育推進)	60.7%					
【教育】 (学力の育成、防災教育の推進、学校施設の整備・充実、教育における情報化推進とICT環境整備)	59.3%					
【福祉】 (高齢者の社会参加、介護サービスの充実、社会活動や就労の場の創出、障がい者自立支援、生活困窮者への支援等)	58.0%					
【行政運営】 (行政・財源の透明性・公平性の確保、安心・納得できる納税環境づくり、市職員への教育や意識統一、情報発信の改善)	55.5%					
【健康】 (保健活動や予防啓発活動の充実、母子健康活動の充実、地域医療体制の確保等)	54.8%					
【公共交通】 (地域特性や多様なニーズに応じた地域公共交通の整備と利用促進、安全対策の推進)	54.8%					
【行政手法】 (地域の体制づくりの支援、女性、若者、学校、事業者等みんなが地域づくりに関われる機会の創出、地域の自主的な課題解決への取り組みに対する支援)	50.7%					
【商工業・地場産業】 (デジタル化の推進、企業誘致の促進、雇用の確保、淡路瓦の普及促進、淡路手延素麺の認知度向上)	48.3%					
【生涯学習・文化・スポーツ】 (文化遺産の活用、伝統文化の伝承と発展、スポーツ活動の支援、図書サービスの向上、生涯学習の機会の提供)	46.8%					
【移住定住】 (移住定住の促進、空き家活用促進、地域おこし協力隊制度の活用)	45.9%					
【観光・交流】 (鳴門の渦潮を核とした観光ブランディング、インバウンド対応、グローバル人材の育成、環境美化の維持)	44.5%					
【人権】 (人権が大切にされる教育環境整備、人権に関する知識や情報の提供、男女共同参画への意識啓発)	42.6%					
【資源循環】 (地域内の資源循環システム構築、脱炭素化への取り組み推進、温室効果ガス削減)	41.3%					

- 子育て (62.8%)
- 生活環境 (61.8%)
- 防災・防犯 (60.8%)
- 農畜水産業 (60.7%)
- 教育 (59.3%)
- 福祉 (58.0%)
- 行政運営 (55.5%)
- 健康 (54.8%)
- 公共交通 (54.8%)
- 行政手法 (50.7%)

まちづくり評価〈市民視点〉小中高校生アンケート 22

○小中高校生アンケートについて

「第3次南あわじ市総合計画後期基本計画」及び「南あわじ市地方版総合戦略（仮称）」を策定するにあたり、若者世代が、まちづくりの将来についてどのように感じられているかなどを把握するため実施しました。

調査対象	(小学)南あわじ市内の小学校4年生、5年生、6年生 (中学)南あわじ市内の中学1年生、2年生 (高校)南あわじ市内の高校1年生、2年生
調査期間	令和8年1月27日(火)～2月6日(金)
調査方法	学校での案内の配布、Web形式による調査 (小・中学生は学校で回答、高校生は各自で回答)

○回収結果

	小学生	中学生	高校生
配付対象	1,048名	723名	338名
回答者数	687件	638件	256件
回収率	65.6%	88.2%	75.7%

力を入れて欲しいこと

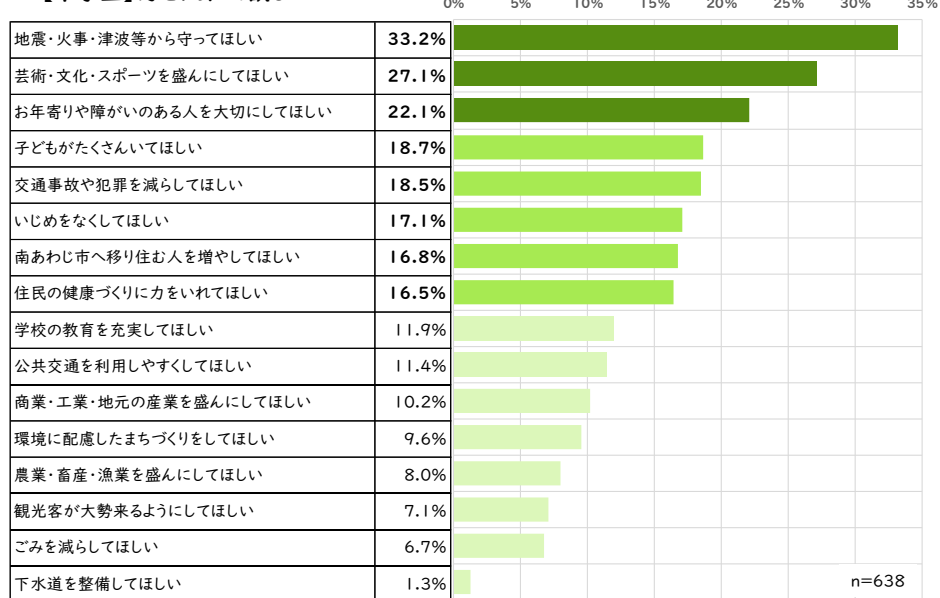
【中学生】上位3項目

- 地震・火事・津波等から守って
- 芸術・文化・スポーツを盛んに
- お年寄りや障がいのある人を大切に

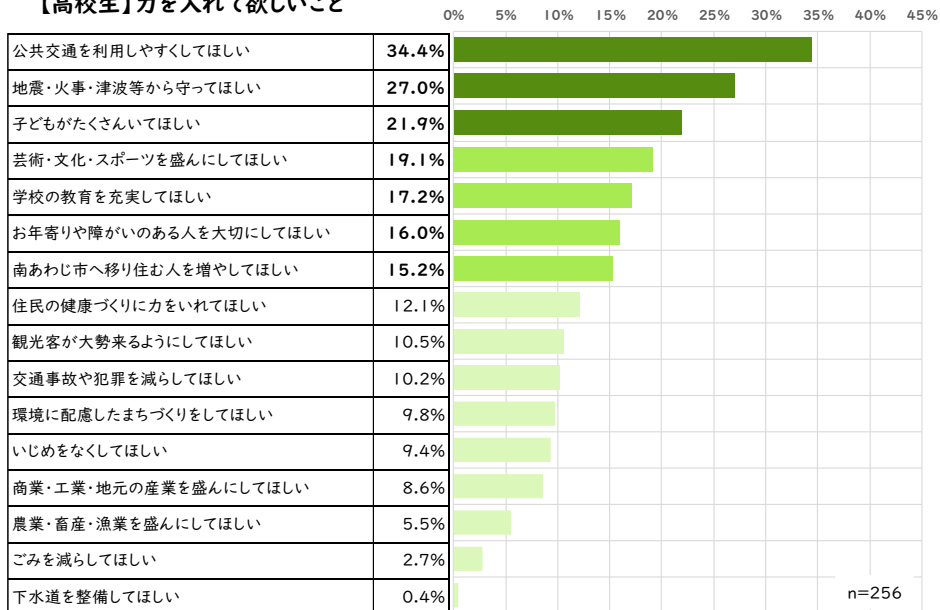
【高校生】上位3項目

- 公共交通を利用しやすく
- 地震・火事・津波等から守って
- 子どもがたくさんいてほしい

【中学生】力を入れて欲しいこと



【高校生】力を入れて欲しいこと



まちの理想像

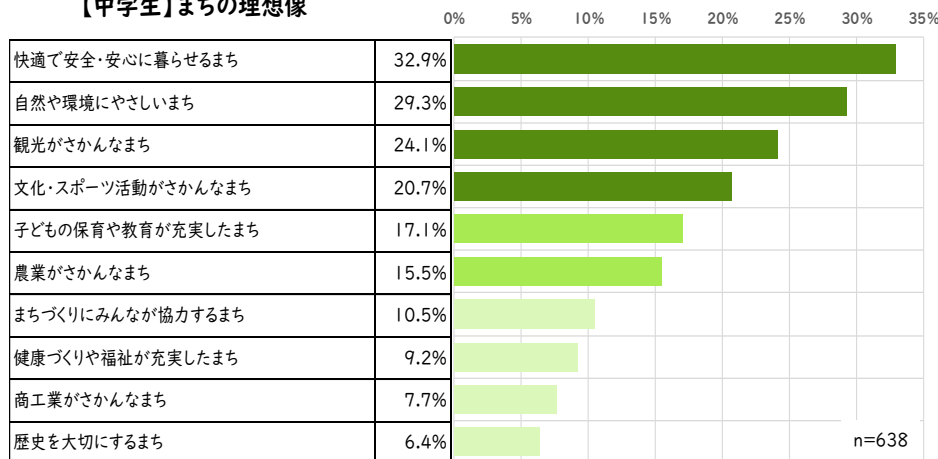
【中学生】上位項目

- 快適で安全・安心に暮らせるまち
- 自然や環境にやさしいまち
- 観光がさかんなまち
- 文化・スポーツ活動がさかんなまち

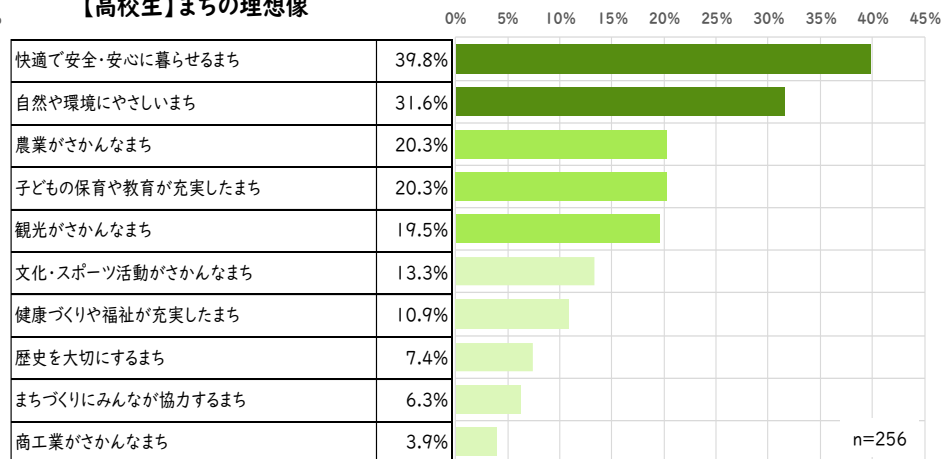
【高校生】上位項目

- 快適で安全・安心に暮らせるまち
- 自然や環境にやさしいまち

【中学生】まちの理想像



【高校生】まちの理想像



市民が期待する将来像 (抜粋抽出)

産業・活気の視点

南あわじ産**ブランド**が豊富なまち
働きやすく住みやすい町
畜産、農業に強い町
働く場所があるまち
鳥獣被害の無いまち
農業、漁業がさかんな町
食べることに困らない**食豊かな**街
農業で暮らしていけるまち
第一次産業を生かしたまち
地場食材にあふれる町
安心安全な**野菜作り**のまち
活気があるまち
IT企業がある町

交通の視点

都市圏にアクセスできる**交通機関**が整っているまち
年寄りが免許を返納しても住みやすいまち
公共交通機関が充実した住みやすいまち
歩道の整備、**安心して**歩ける町
足(車とか)のない人も楽しく生きているまち
コンパクトなまちづくりをして**徒歩で生活**できるような高齢者にやさしいまち

安全の視点

生活するうえで不安のない**安全な**まちづくり
防犯面がしっかりして安心して住めるまち
安心安全性のある町づくり

健康・福祉・共生の視点

明るく、楽しい、お互いが、**たすけ合う**町作り
一人一人が大切にされるまち
人が**つながる**笑顔あふれるふるさとづくり
世間体を気にせず生きることのできる町
健やかなまち
格差の無い市民に優しい町
健康な町づくり
誰も置き去りしない町

参画・活躍の視点

子どもたちが地元で活躍できるまち
若者が活躍する町
みんなで創る**誇り**と**未来**につながる南あわじ市
若者から高齢者まで輝いていられるまち
自分以外を**幸せ**にできる市民のまち

教育・生涯学習・文化の視点

教育が充実したまち
スポーツのまち
教育が豊かな町
世界で名だたるアーティストが集まり日本中の人たちが集うことが出来る**豊かな**街づくり
国生みの町

人口の視点

人口が増える町
若者が帰ってくる街
若者が住みやすいまち
移住したいまち
人が**集まる**街
移住者を含め若者が定着できるまち
若者が魅力を感じる街づくり
子供、若者が多いまち
若者が多く、発展するまち
進学や就職で島外に転出しても、いつか帰りたいと思う南あわじ市
行ってみたいと思われる町
若い人が故郷で生活したいと思うまち

都市運営の視点

市町村合併せずに**済む力**あるまち
自立なまち
コンパクトなまち

その他

住みたいまち南あわじ
誰もが**住みやすい**町づくり
生まれたまちで、**希望**する暮らしが叶うまち
将来に希望のもてるまち
全員が**笑顔**で暮らせる町づくり
幸福を感じる南あわじ市
ココロもカラダも豊かに生活できる南あわじ市
老若男女が笑顔で過ごせる街
市民第一のまち
自慢ができる南あわじ市
ふるさと自慢いっぱい私のまち
豊かな町

自然・環境の視点

自然を活かした住みやすいまち
綺麗なまち
クリーンで安全な町づくり
スマートシティー
海山里の恵みをあずかれる南あわじ市
うずしおの町

世代を超えて**繋がる**まちづくり
地域の人と**協力**して住みやすい南あわじ市
子供達が楽しく遊べる、過ごせるまち
誰でも受けいれてもらえるオープンなまち
人に**寄り添う**まち
思いやりあふれるまち
老後を安心して過ごせるような街づくり
住民全員が**人間らしい**生活を送れる町

子どもの笑顔が溢れるまち
介護サービスが充実したまち
子供の**いじめのない**、福祉充実なまち
大人になったら結婚して、**子育て**をしてみたくなるまち
人が人として住める健康な市づくり
お年寄り、子供に手厚い町
生きがいを感じる**共生**のまち

政策の柱それぞれに関連するアンケート結果・意見

政策の柱Ⅰ 超高齢化社会の克服

市民の役割（できていること）

- ・健康行動を心掛けている（63.7%）
- ・誰もが安心安全に暮らし社会参加できるよう努めている（38.3%）
- ・移住者を受け入れ、ともにまちづくりに取り組んでいる（23.7%）

- 健康・福祉に関しては市民の役割も認識され満足度も高い
- 移住・定住は市民も取り組めていなく、満足度も比較して低い

市民の満足度（満足/不十分）

- ・健康（38.2%/12.4%）
- ・福祉（30.2%/16.1%）
- ・移住・定住（16.8%/20.5%）

政策の柱Ⅱ 子育て環境の向上と教育の充実

市民の役割（できていること）

- ・地域や家庭で青少年の健全育成や家族が支え合う家庭環境づくりに努めている（38.5%）
- ・ボランティア活動で学校を支援し改善点を提案している（10.3%）
- ・地域の歴史・伝統に誇りを持ち、芸術・文化活動へ参加している（22.3%）

市民の満足度（満足/不十分）

- ・子育て（27.0%/16.7%）・教育（24.6%/15.5%）・生涯学習・文化・スポーツ（29.1%/12.5%）

子育てしながら働くのに必要な支援

- ・保育園・認定こども園の定員拡充、待機児童解消（30.7%）
- ・放課後児童クラブの時間延長・休日開設（30.6%）

- 学校へのボランティア活動などの市民参加が出来ていない
- 子育て、教育の満足度は高いが、保育等のサービス拡充が求められている。

政策の柱Ⅲ 地域の資源を生かした地元産業の活性化

市民の役割（できていること）

- ・地産地消を心がけ、魅力を発信している（10.3%）
- ・地元産品の良さを理解し地元の商店で買い物している（58.5%）
- ・清潔な観光地を維持するボランティア活動に参加している（17.2%）
- ・ゴミの分別や省エネ、地域の美化活動に取り組んでいる（76.3%）
- 地産地消は意識しているが、魅力を発信までは市民が取り組めていない
- 観光・交流を除いて不満足の方が高くなっている

市民の満足度（満足/不十分）

- ・農畜水産業（18.7%/24.5%）
- ・商工業・地場産業（12.8%/25.9%）
- ・観光・交流（23.3%/17.5%）
- ・資源循環（8.8%/18.0%）

政策の柱Ⅳ 安全・安心のまちづくり

市民の役割（できていること）

- ・防災や防犯に対する備えを日常的に行っている（44.6%）
- ・積極的に地域の公共交通を利用している（10.9%）
- ・日常の人権課題を学習し互いを思いやる気持ちを持っている（46.2%）

女性の活躍を推進するのに必要なこと

- ・男性の積極的な家事・育児・介護の参加（31.1%）
- ・高齢者施設や病院、介護サービス等の充実（22.7%）
- 公共交通は市民の活用・満足度のどちらも低くなっている
- 女性の活躍には子育て支援だけでなく高齢者介護への支援も求められている

市民の満足度（満足/不十分）

- ・防災・防犯（24.0%/23.1%）
- ・公共交通（18.7%/30.7%）
- ・人権（16.7%/13.7%）
- ・生活環境（29.7%/23.1%）

政策の柱Ⅴ 「対話と行動の行政」の実現によるまちづくり

市民の役割（できていること）

- ・地域の活動に主体的に取り組んでいる（25.8%）
- ・市の公表する予算や財政状況を理解し市政に積極的に参画している（10.4%）

南あわじ市の広報について

- ・よく見られているもの：「広報南あわじ（39.2%）」
- ・見られていないもの：「市公式LINE（51.5%）、Facebook、X、Instagram（59.9%）」
- ・もっと知りたいこと：「年金・税・保険（45.5%）」、「健康・福祉（42.6%）」
- 市民の市政への積極的な参画はできていない人がほとんど
- 各種SNSによる広報を見ない・知らない人が半数以上となっている

市民の満足度（満足/不十分）

- ・行政手法（15.9%/18.0%）
- ・行政運営（19.7%/19.4%）

○市民ワークショップについて

より多くの市民の意見を反映させた計画策定を行うため、「自慢したくなる南あわじ市、10年後の姿をイメージしてみよう」をテーマに下記日程で市民ワークショップを開催しました。

令和8年2月7日（土） 14：00～16：00

会場：南あわじ市役所本館3階 304・305会議室



1回目の結果を受けての第2回ワークショップは下記日程で開催します。

第2回 ワークショップ

令和8年4月25日（土） 14：00～16：00

会場：南あわじ市役所本館3階 304・305会議室

市民が期待する将来像 (キーワード抽出)

超高齢社会について

タブレット活用	遠隔医療
つどいの場所	地域交流イベント
話し相手	高齢者の買い物
地域の助け合い	高齢者と若者の交流
健診の往診対応	ひとり暮らし高齢者
身寄りのない高齢者	らんらんバスの増便
高齢者の社会参画	健康寿命
高齢者の生涯学習、やりがい	
リタイヤ後に移住したい街	
プチお手伝い(移動、ゴミ出し等)制度	

安全・安心な暮らしについて

お金を稼げる自治会	住民が集まれる場所
バリアフリー	移動手段の確保
帰ってきたい町	買い物環境
にぎわい	見守り
看護師の巡回	移住者の相談窓口
防災知識・情報	コミュニティバス
無人バス巡回	安全な通学環境
障害者が暮らしやすい	歩いて回れる街
オンデマンド交通(ポタン一つで)	
道路整備(街灯整備、幅員拡幅等)	
地域のつながり、助け合い	

教育、子ども・子育てについて

公園遊具のある遊び場	子育てしやすい環境
少年スポーツのメッカ	遠隔学習
自習室	専門的なカリキュラム
地域型博物館	図書館
一時保育	ひとり親家庭
部活動の活性化	0~3歳の保育料無料
身近なカウンセリング	習い事への助成
人権重視	体験機会
飛び級制度	海外留学支援
スクールバス送迎の充実(習い事など)	
フィルムロケーション(吹上浜など)	
学びたい分野を实践できる場、制度	
中高生の交流の場(オンライン等)	
大学生や多様な学生との交流の場	
オンラインの小中高生相談	
子どもがUターンしてくる地域	
産婦人科、産科医、助産師	
食の豊かさを活かした給食	

産業について

スマート農業	担い手育成、事業継承
魅力発信	水産物のブランド化
働く場所	三年トラフグ、鯛しゃぶ
自動運転の公共交通	観光産業
特産品PR	農業の付加価値
カフェやホテル	産業同士の交流
美食の街	だれもが働きやすい
若者が活躍できる	産直の店
新規就農支援	若者のUターン
農業バンク、マッチング	自給自足
吉備国との連携	環境教育
環境に配慮した開発	伝統文化
海の様々な問題(栄養、収穫)の対策	
空家活用のシェアハウス	
産業・資源・経済の循環	
文化・伝統・デザインを大切に	

その他

関係人口	郷土愛
おもいやりポイントの学生バージョン	
まちづくりへのこどもの参加	
世界的音響学者田中正平博士	
南あわじ市に帰りたいと思っておこせる歌	
自分の町プレゼンテーションorディベート大会	

自慢したくなる南あわじ市、10年後の姿をイメージしてみよう 【超高齢社会について】

<健康寿命を伸ばし、いきいき暮らせている>

- ・健康寿命日本一になる
- ・南あわじのお年寄り超元気だ
- ・健診の往診対応がなされている

<年齢に関係なく活躍できる>

- ・高齢者の生涯学習が有名で、リタイヤ後に移住したい街として日本一になる
- ・福良水族館:高齢者のやりがいにつながっている
- ・お年寄りが特技を活かして楽しく活躍できる

<人と交流し、孤独を防ぐことができている>

- ・つどいの場所がたくさんある
- ・高齢者が楽しく集まれる
- ・地域の人交流できるイベントが多い
- ・若い人の話し相手がほしい=世代間交流がなされている
- ・高齢者と若者が交流できる地域である

自慢したくなる南あわじ市、10年後の姿をイメージしてみよう 【超高齢社会について】

< 困ったときに地域で助け合える >

- ・ 高齢者同士が支え合う地域になっている
- ・ 困った時に地域の人が助けてくれる
- ・ 移動、ゴミ出し等プチお手伝い制度がある
- ・ 一人暮らしでも安心、楽しく暮らせるお年寄りが増える
- ・ サービスに頼らずとも、よい地域だ、と思える

< 車がなくても安心して外出できる >

- ・ 高齢の方の買い物がしやすくなる
- ・ 車がなくても色々な所に好きな時に行ける
- ・ 外出時の移動に困らない
- ・ らん・らんバスがもっと多く通り、年をとっても動ける

< 超高齢社会に対応した安心の仕組みがある >

- ・ タブレットが各家に配られている(生活災害情報全般が収集できる)
- ・ 遠隔医療の実施がなされている
- ・ 身寄りがなくても最期を迎えられる
- ・ 超高齢化はしかたない、家のまわりが高齢化である
= 人口構造に適応したまちづくりがなされている

自慢したくなる南あわじ市、10年後の姿をイメージしてみよう
【教育、子ども・子育てについて】

< 学び方・制度・教育機会が充実している >

- ・学校に行かなくても勉強できる
- ・自習室が充実している
- ・エッジの効いた専門的なカリキュラムがある
- ・学びたい分野を市内で実践できる場、制度がある
- ・飛び級制度:個人の学びを深める
- ・海外留学支援がある：幼・保～18才まで
- ・部活動が活発にできる

< 学校外学習・文化資源の活用・体験型教育が充実している >

- ・地域型博物館で地域について学べる場所がある
- ・図書館が整備されている
- ・習い事への助成制度がある→部活動の民営化のため
- ・スクールバスで塾や習い事の送迎がなされている
- ・多くの経験の機会がある

自慢したくなる南あわじ市、10年後の姿をイメージしてみよう
【教育、子ども・子育てについて】

<人のつながり・地域との関係性の深化がなされている>

- ・音楽、芸術で勉強している学生とのつながりがある
- ・進学した大学生との交流の場がある
- ・中高生の交流の場がある（オンラインを含む）
- ・市外に出た若者が小中高生にオンラインで相談に乗る制度がある
- ・子どもがUターンしてくる地域になっている
- ・地域から出たの活動に対する支援がある
- ・地域との顔の見える関係が構築されている
- ・「推進度」の中の「人権」の数値が上がる→推進すべきという意識UP

<家庭を支える制度・福祉・医療が充実している>

- ・急な体調不良時、見てくれる所がある
- ・保育所以外にも預かってくれる所がある
- ・産婦人科UP、産科医、助産師（医療制度の充実）
- ・シングルマザー、ファザーが安心して子育てできるまちである
- ・0～3歳も保育料が無料である

自慢したくなる南あわじ市、10年後の姿をイメージしてみよう
【教育、子ども・子育てについて】

<子どもの日常環境・成長環境が充実している>

- ・公園がたくさんある
- ・公園遊具のある遊び場がある
- ・子育てしやすい環境である
- ・子供が夢中になるものがある
- ・子どもが沢山育てられるような支援がある
- ・地域で子育てしやすい
- ・カウンセリングがもっと身近になっている(子どもにも大人にも)

<地域の誇りといえる象徴がある>

- ・食の豊かさ日本一の給食がある
- ・吹上浜など映画ドラマのロケ地として全国的に有名になる
- ・プロスポーツ選手(野球、サッカー)が排出される。少年スポーツのメッカになる

自慢したくなる南あわじ市、10年後の姿をイメージしてみよう 【産業について】

< 高度化かつ持続可能な農林水産業となっている >

- ・スマート農業の推進(担い手) がなされている
- ・農業の付加価値がより高くなっている
- ・魚の養殖がある
- ・地域資源である海が守り育てられている
- ・水産業：魚価の低迷や担い手不足という問題が解決されている
- ・水産業：海水温の上昇や栄養塩不足などの環境変化に対応している
- ・水族館整備について、地元産業との結びつきがなされている
- ・海の様々な問題(栄養、収穫)の対策が講じられている
- ・海の栄養塩対策が引き続き実施されている
- ・新規農業しやすい仕組みがある
- ・効率の良い農業、スマート農業がなされている
- ・農業バンク、マッチングがなされている
- ・一人になっても好きな農業が続けられる
- ・新規就農のハードルが低いまちになる

自慢したくなる南あわじ市、10年後の姿をイメージしてみよう 【産業について】

<地域資源のブランド化・食・観光産業の強化がなされている>

- ・水産物(ワカメ、ハモ)のブランド化がなされている
- ・三年トラフグ、鯛しゃぶを目当てに、観光客が押し寄せている
- ・地域の特産品を全国の人に知ってもらい、食べてもらっている
- ・「美食の街」の実行がなされている
- ・地元の野菜や魚を使ったお店がある
- ・観光客の方が楽しめる所がたくさんある
- ・ホテルが数多くある
- ・観光は勝手についてくる、地元産業、地元の暮らしの充実

<雇用促進・人材循環・働きやすさがなされている>

- ・事業継承したくなる
- ・働く場所がたくさんある
- ・インターン先が充実している
- ・若者の活躍が目立つ地域になっている
- ・面白い仕事、面白い人がたくさんある
- ・だれもが働きやすいまちづくりがなされている
- ・Uターン率**100%**になっている
- ・空家を改修したシェアハウスで若者の移住者が激増、高齢者と共同生活で見守りが充実し孤独死がなくなる

自慢したくなる南あわじ市、10年後の姿をイメージしてみよう 【産業について】

< 地域内経済循環・持続可能な地域経済となっている >

- ・ 吹上キャンプ場の利益配当が自治会で担われている
- ・ 地域の産業・資源・経済が循環している
- ・ 地域産業の収入UP(個人所得)がなされている
- ・ 商品やサービス等が地元価格、観光客価格で提供されている
- ・ 海外、県外の企業よりも地域の企業が選ばれるようになっている
- ・ 産業同士の交流がなされている

< 文化・芸術の活用がなされている >

- ・ 瓦のオカリナがさらに発展している
- ・ 芸術の発展がなされている
- ・ 文化・伝統・デザインを大切にしている
- ・ 伝統文化を活かしたまちづくりがなされている

自慢したくなる南あわじ市、10年後の姿をイメージしてみよう 【産業について】

< 商業・サービス・観光拠点の活性化がなされている >

- ・ 集客のある施設ができることから、商売をはじめめる人が増えている
- ・ カフェがある
- ・ BOOKカフェがある
- ・ 盆栽、寄せ植カフェがある
- ・ 産直の店に地元の人が行きやすくなっている

< 産業を支える環境が整っている >

- ・ 自動運転の公共交通が充実し、安い料金で京阪神と結ばれる
- ・ 各地域の魅力が発信されている
- ・ 土地が安くなって家がたくさん建っている
- ・ 吉備国際大学との連携がなされている

< 自立型・循環型社会が追求されている >

- ・ 自給自足率日本一のまちづくりがなされている
- ・ 環境教育の機会が増え、自慢に思う子どもが出てくる
- ・ 環境に良く配慮した上で開発されるようにルールがつけられている
(破壊されてしまって、もったいないという現状がある)

自慢したくなる南あわじ市、10年後の姿をイメージしてみよう 【安全・安心な暮らしについて】

< 事故防止と移動の利便性がなされている >

- ・ 街灯や中央線が足りない、少ない、という問題が解決されている
- ・ まちの道が広げられている（道の狭さが解決されている）
- ・ 生活道路が狭いので広くされている
- ・ 道路が整備されている
- ・ 横断歩道たくさん、歩きやすいまち(街)になっている
- ・ 子どもが安全に通学できる
- ・ ボタン一つで送迎者を呼ぶことができる
- ・ 移動手段がたくさんある
- ・ コミュニティバスが充実している
- ・ 無人バスが巡回している
- ・ 歩いて回れる街が増えている

< 高い生活利便性がある >

- ・ まち全体においてバリアフリー対応がなされている
- ・ 障害者にとって住みやすい、訪れやすい地域となっている
- ・ 手軽に地域の人買い物ができるスーパーがある
- ・ まちに公園が作られ、住民が集る場所となっている

自慢したくなる南あわじ市、10年後の姿をイメージしてみよう 【安全・安心な暮らしについて】

<見守り・防犯・防災の体制が充実している>

- ・地域の方々の見守りがなされている
- ・看護師が巡回してくれる
- ・居住地以外の南あわじ市内の防災知識が共有されている
- ・鍵をかけないでも安全な防犯のまちである

<地域におけるコミュニティ力がある>

- ・地域のつながりが強く助け合いがある
- ・気にかけてあう近所付き合いがある
- ・移住者の方が気軽に相談できる環境がある
- ・一回都会に出た人も、帰ってきたいまちになる
- ・昔の丸山のようなにぎわいを取り戻している
- ・お金を稼げる自治会となっている

自慢したくなる南あわじ市、10年後の姿をイメージしてみよう 【その他】

<地域に関わる人を増やす・つながりが広がっている>

- ・関係人口が増加している
- ・増えた空き家が活用されている

<市民参加とまちづくりへの主体的参画がなされている>

- ・まちづくりに子どもの頃から参画できる
- ・「おもいやりポイント制度」の学生バージョンが展開されている
- ・自分のまちについてのプレゼンテーションorディベート大会が開催されている

<郷土愛の醸成がなされている>

- ・世界的な音響学者である田中正平博士の偉業が広く共有されている
- ・南あわじ市に帰りたいと思っておこせる歌がある
- ・子ども達のふるさと愛につながる市歌がある
- ・いざという時も心1つにできる市歌がある
- ・のりと（祝詞）など記録されている（郷土愛）
- ・わがまちが好きだという住民が100%

アンケート、ワークショップ、本日の審議内容を整理して、第3回審議会の基本構想案を提案させていただきます

将来像

将来像に込めた市民の思い①

将来像に込めた市民の思い②

将来像に込めた市民の思い③

将来像に込めた市民の思い④

将来像に込めた市民の思い⑤

新しい将来像

政策の

I 超高齢化社会の克服	1 健康	I-1-1 健康づくりの推進と地域医療の充実
	2 福祉	I-2-1 高齢者福祉の充実
	3 移住定住	I-2-2 福祉の充実 I-3-1 移住・定住の促進
II 子育て環境の向上と教育の充実	1 子育て	II-1-1 子どもたちの健全育成の推進
	2 教育	II-1-2 子どもを産み育てやすい環境の充実
	3 生涯学習・文化・スポーツ	II-2-1 学校教育の充実 II-2-2 教育環境の充実 II-3-1 伝統文化の伝承と歴史・ふるさと資源の保存活用の推進 II-3-2 生涯学習の推進と芸術・文化・スポーツの振興
III 地域の資源を活かした地元産業の活性化	1 農畜水産業	III-1-1 農畜産業の振興
	2 商工業・地場産業	III-1-2 農畜産物の高付加価値化の推進
	3 観光・交流	III-1-3 水産業の振興と高付加価値化の推進 III-2-1 商工業の推進
	4 資源循環	III-2-2 伝統的な地場産業の振興 III-3-1 観光交流の促進 III-3-2 観光施設・環境の整備 III-4-1 資源循環型社会の推進 III-4-2 低炭素社会の推進
IV 安全・安心のまちづくり	1 防災・防犯	IV-1-1 防災力向上
	2 公共交通	IV-1-2 交通安全対策と防犯対策の推進 IV-2-1 地域公共交通の充実
	3 人権	IV-3-1 確かな人権意識と行動力を持った人づくり IV-3-2 人権と平和を尊重する環境づくりの推進
	4 環境	IV-3-3 男女共同参画の推進 IV-4-1 環境保全・環境衛生の推進 IV-4-2 都市基盤の整備
V 「対話と行動の行政」の実現によるまちづくり	1 行政手法	V-1-1 市民主体のまちづくり
	2 行政運営	V-2-1 最強の市役所づくり V-2-2 シティプロモーションの推進